

令和8年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 (大阪府域) 首長会議 議事概要

日 時：令和8年8月6日(木) 10時より

場 所：国民會館 大ホール

【出席者】

(委員)

摂津市	嶋野 市長
島本町	山田 町長
淀川左岸水防事務組合	栗本 局長
淀川右岸水防事務組合	八木 局長
大阪府 都市整備部 事業調整室	岡部 室長
(独)水資源機構 関西・吉野川支社	三戸 支社長
淀川ダム統合管理事務所	岡崎 所長
淀川河川事務所	西澤 所長

(代理)

大阪市	平原 防災計画担当部長
吹田市	山下 危機管理監
高槻市	北野 技監
守口市	大野 危機管理室長
枚方市	田村 危機管理部長
寝屋川市	林 危機管理部長
大東市	竹中 危機管理監
東大阪市	大田 危機管理監
大阪府 政策企画部 危機管理室	西田 参事
大阪府 都市整備部 河川室	安藤 参事
気象庁 大阪管区气象台長	海老 気象防災情報調整官

■議題

(1) 淀川管内水害に強い地域づくり協議会について

- 1) 規約の改訂
- 2) 協議会の概要
- 3) 令和7年度の活動報告

(2) 減災に係る取組方針の改訂

- 1) 5年間の取組に関する総括
- 2) 取組方針の改訂

(3) 令和8年度の取組の進め方（定量目標）

(4) 意見交換

(5) 今後の予定

【開会挨拶】淀川河川事務所 西澤所長

- ・ 先週発生した熊本地震に対して、近畿地方整備局としてもTEC-FORCEの派遣をはじめ、出来る限りの支援を行う。
- ・ 大阪では6月に寝屋川流域を中心に大きな降雨が発生し、浸水被害が発生した。このようなゲリラ豪雨による内水被害に対して迅速な被害を防ぐ行動をとっていただくことが何より重要である。そのため、迅速・的確な情報発信とあわせてマイ・タイムラインの作成や日頃からの避難訓練等、災害の自分事化が重要である。
- ・ これまでの総括を踏まえて、さらなる取組の充実・強化に向けて議論をいただきたい。

【1. 淀川管内水害に強い地域づくり協議会について】

1) 規約の改訂

事務局より、規約の改訂について説明した。出席者から質問・意見なし。

2) 協議会の概要

事務局より、協議会の概要について説明した。出席者から質問・意見なし。

3) 令和7年度の活動報告

事務局より、令和7年度の活動報告について説明した。出席者から質問・意見なし。

【2. 減災に係る取組方針の改訂】

事務局より、減災に係る取組方針の改訂について説明した。出席者からの質問・意見は以下の通り。

■大阪府 都市整備部 河川室

- ・ 資料-4のP7で、宇治市や城陽市は、令和6年度から令和7年度で訓練実施数が激増している。何が原因か把握できているか？

□事務局（淀川河川事務所）

- ・城陽市については講習会をした事の効果があつたと考えている。宇治市は現状把握できていないので、ヒアリングを行ったのち結果を共有する。

【3. 令和8年度以降の取組の進め方（定量目標）】

事務局より、「令和8年度以降の取組の進め方（定量目標）」について説明した。出席者からの質問・意見は以下の通り。

■大阪府 政策企画部 危機管理室

- ・資料－6のP4に記載されている「まるごとまちごとハザードマップの設置支援」についてもう少し具体的に説明いただきたい。

□事務局（淀川河川事務所）

- ・まるごとまちごとハザードマップを電柱等へ設置する場合、調整や設計・制作・設置作業が必要になる。国としてはデザイン作成から製作、設置までを支援する。一方で、設置箇所の地元調整や設置後の維持管理については、市町村にご対応いただく形になる。

■大東市

- ・大東市ではまるごとまちごとハザードマップの設置数がまだ少ない。取組を進める場合、まず市から要望を出す形になるのか？

□事務局（淀川河川事務所）

- ・例年、首長会議終了後にアンケートを実施し、希望する支援メニューを確認している。今年度は既にアンケートを実施しており、支援希望をいただいた自治体に対して今後調整を進めていく予定である。

【4. 意見交換】

資料－3～6を踏まえ、各機関から「これまで5年間の取組の振り返り」や、「これからの5年間に向けた取組予定」について発言いただいた。出席者からの意見は以下の通り。

■摂津市長

- ・摂津市では、想定最大規模降雨による浸水深が最大7mを超え、浸水継続時間も2週間を超える区域が存在しており、水害対策が市政上の重要課題となっている。立地適正化計画においても居住誘導区域の大部分が浸水想定区域に含まれている状況である。
- ・令和3年度から令和7年度にかけては、淀川河川事務所の協力のもと、まるごとまちごとハザードマップの設置を進め、市民への水害リスク周知に取り組んだ。また、小学校区ごとの防災マップ作成を通じ、自主防災組織、防災サポーター、小学校、PTA、民生委員、福祉関係者、事業者など、コミュニティとしての防災力向上にも注力してきた。また、要配慮者利用施設における避難訓練の促進、公共施設の高台化についても取り組んできた。
- ・今後は、多くの関係機関と連携をしながら広域避難の発令基準や避難場所の確保について検討を進めるとともに、要配慮者利用施設の避難訓練実施率向上やマイ・タイムライン作

成の推進に取り組み、市民の防災意識向上を図っていききたい。

■島本町長

- ・ この5年間では、防災対応力強化の取組として、高度化版を含むまるごとまちごとハザードマップを6箇所を設置したほか、令和5年度から個別避難計画の作成を進め、令和7年度末時点で約300件中70件程度を策定している。
- ・ 民間集合住宅の共用スペースを新たな避難所として指定し、令和8年度中の運用開始に向けた整備を進めている。能登半島地震の教訓を踏まえ、災害用トイレの更新やトイレ組立訓練などにも取り組んでいる。
- ・ 今後は防災訓練の内容充実や協定締結による連携強化を図るとともに、防災広報やSNSによる周知を強化する。また、要配慮者利用施設の避難訓練実施率向上に向け、協議会の支援メニューを活用しながら取り組みを進めたい。

■大阪市

- ・ 近年の気候変動により、局部的豪雨や猛暑が日常化しており、防災・減災の取組の重要性はますます高まっている。協議会で進めている水防災意識社会再構築ビジョンに基づく29項目については、全て実施している。
- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画策定率は100%を維持しているものの、避難訓練実施率は約3割にとどまっている。市内に7,000を超える対象施設があることもあり、今後の大きな課題と認識している。
- ・ 視覚障害者向けにハザードマップや避難情報を音声等で利用しやすい形にするホームページを公開している。今後も「誰一人取り残さない」避難を目指し、防災施策を推進していききたい。

■吹田市

- ・ この5年間は、ハザードマップを中心とした防災啓発を重点的に実施してきた。令和4年度には防災ブックとの一体化を行い、令和7年度には洪水・内水ハザードマップの更新を実施した。
- ・ 要配慮者利用施設の避難訓練実施率は15%にとどまっており、大きな課題と認識している。実際の避難だけでなく図上訓練や情報伝達訓練など施設の負担に応じたメニューを提示し、訓練のハードルを下げたいと考えている。
- ・ 今後は福祉・子育て・教育部局とも連携しながら、訓練実施率向上に取り組んでいきたい。

■高槻市

- ・ 今年4月から高槻市危機管理センターの供用を開始した。災害対応拠点としてだけでなく、VR映像を活用した防災教育・啓発の場としても活用している。
- ・ 水害・土砂災害ハザードマップを改定し、河川ごとの浸水リスクを分かりやすく表示するとともに、防災気象情報の改定内容も反映させた。昨年度に全戸配布を行い、今後は啓発

動画の作成も予定している。

■守口市

- ・ 令和 7 年度末に避難所開設運営マニュアルを策定した。市職員による初動対応から地域住民主体の運営へ円滑に移行することを目的としている。
- ・ 今後は地域と連携した訓練を通じてマニュアルを改善し、より実践的な内容へブラッシュアップしたい。また、他自治体の事例も参考にしながら、要配慮者利用施設の避難訓練実施率向上に取り組みたい。

■枚方市

- ・ 個別避難計画の作成促進、防災ガイドの更新、要配慮者利用施設向け講習会の実施などに取り組んだ。協議会の取組達成率は 100%となった。
- ・ 地域コミュニティの担い手不足や自治会加入率低下など、共助を取り巻く環境は変化している。災害時に重要となる地域のつながりをどのように維持・継承していくかが課題である。
- ・ 今後も国・府・関係機関との連携を図りながら、定量目標達成に向けて取り組んでいきたい。

■寝屋川市

- ・ 要配慮者利用施設の避難訓練実施率は、施設向けチラシの配布等により 30%から 80%へ向上した。今後は 100%を目指したい。
- ・ 小中学校への非常用電源設備導入、トイレ凝固剤の備蓄、井戸整備、震度 5 以上で自動開放される鍵ボックスの設置などを進めている。
- ・ 避難所のトイレ対策を重視しており、トイレ運用マニュアルを作成し、地域と連携した訓練を進めている。さらに家庭備蓄の推進キャンペーンも予定している。

■大東市

- ・ 地区防災計画の策定を進めており、12 地区のうち 5 地区が策定済み、3 地区が作成中である。しかし地域ごとの防災意識の差が課題となっている。
- ・ 防災マップ改定や防災アプリ整備を実施した。今後は地域へ積極的に入り込んで訓練を実施し、自助・共助意識の向上に努めるとともに、市職員の災害対応力向上にも取り組むたい。

■東大阪市

- ・ 6 月末の豪雨では市内各所で浸水被害が発生し、改めて災害への備えの重要性を認識した。これまでハザードマップ作成やタイムライン策定、各種訓練、協定締結などを進めてきた。
- ・ 昨年度末には約 3,000 m²規模の防災倉庫を整備し、災害対応拠点として運用を開始している。今後は防災倉庫を活用した訓練や自主防災組織との連携強化を進めたい。

■淀川左岸水防事務組合 事務局長

- ・ 令和 8 年 4 月に着任して以降、各種訓練や出水期への備えに取り組んできた。現在の最大の課題は水防団員の確保であり、新規入団促進に向けた取組を進めている。
- ・ 大阪市立デザイン教育研究所の協力を得て、水防団募集ポスターを作成するなど、若年層にも訴求できる啓発を進めている。また、近年は女性団員も増加しており、水防服の見直しなども検討している。今後も構成自治体と連携しながら団員確保に努めたい。

■淀川右岸水防事務組合 事務局長

- ・ 本年度、組合設立 100 周年を迎えた。5 月 31 日には摂津市で記念演習を実施し、淀川河川事務所、気象庁、大阪府、構成市町をはじめ多くの関係機関の協力を得て開催することができた。
- ・ 演習では、水防工法訓練のほか、ボーイスカウトやガールスカウトによる土のう積み体験、防災関係車両展示、水中歩行体験施設、ヘリコプターの展示飛行、自衛隊による炊き出し訓練などを実施した。来場者アンケートでは 7 割を超える方が水防団に関心を示した一方で、実際の入団希望者は 1 名のみであり、水防団員確保が引き続き課題である。
- ・ また、11 月には高槻城公園芸術文化劇場において 100 周年記念式典を開催予定であり、防災・減災に関する講演等も予定している。

■大阪府 政策企画部 危機管理室

- ・ 各自治体からの取組報告に対し、様々な工夫がなされていることに敬意を表したい。
- ・ 熊本地震への支援としてトイレカーを派遣した経験から、避難所におけるトイレ環境が重要であること、被災地では和式トイレの利用が困難で、洋式トイレへのニーズが高いこと、さらに猛暑下では臭気対策も避難者の生活環境維持に重要であることがわかった。今後の避難所整備や備蓄計画において参考にさせていただきたい。

■大阪府 都市整備部 事業調整室長

- ・ 各機関の様々な取組に対し、敬意を表したい。
- ・ 大阪府としても色々な協力・密な連携を今後も継続して行きたい。

■大阪府 都市整備部 河川室

- ・ 大阪府では、流域治水の考え方に基づき、「知る」「とらえる」「備える」の 3 つの観点から避難行動支援計画を取りまとめている。
- ・ 「知る」ではハザードマップの見方や活用方法の周知、「とらえる」では水位情報や監視体制の充実、「備える」では要配慮者利用施設の訓練やマイ・タイムライン作成などを位置付けている。
- ・ 今後も市町村や関係機関と連携しながら、避難行動の実効性向上に向けた取組を支援して

いきたい。

■水資源機構 関西・吉野川支社長

- ・ダム管理者として、台風や出水への備えを進めている。台風接近時には淀川河川事務所や関係自治体と密接に情報共有を行い、洪水調節を適切に実施していく考えである。
- ・熊本地震に際しては、給水支援車両等を派遣し、被災地支援に取り組んでいることが紹介された。災害時には給水活動も重要となるため、今後も関係機関と連携しながら災害対応を行っていきたい。

■気象庁 大阪管区气象台

- ・これまで各自治体が開催する勉強会やワークショップ等に職員を派遣し、防災気象情報の説明を行ってきた。
- ・令和8年5月に防災気象情報が大きく改定されたことから、住民や自治体職員への周知が引き続き重要であると考えている。今後も説明会や研修会等への講師派遣に積極的に協力していきたい。

【5. 今後の予定】

今後の予定として、ブロック別会議、及び鉄道ワーキンググループを予定していることを共有した。出席者から質問・意見なし。

【閉会挨拶】淀川ダム統合管理事務所 岡崎所長

- ・この5年間で、防災体制強化やハザードマップ整備、避難確保計画策定など、行政として取り組むべき施策は着実に進展した。
- ・今後の5年間は住民の実際の避難行動につながる取組をさらに進める段階にあり、避難訓練や避難生活環境の充実が重要になるとの考えが示された。特に近年は局地的豪雨や短時間強雨が増加しており、従来以上に迅速な避難行動が求められている。
- ・統合管理事務所ではダム群統合運用や洪水予測、レーダ雨量観測などを実施しており、関係機関への情報提供を継続していくことが説明された。さらに、ゲリラ豪雨の予測情報を自治体へ提供する試行も進めていることが紹介され、今後も関係機関が連携して減災対策を推進していく。

以上